

# まつやま 広報

主な内容 No.1255

- 日本最古の道後温泉に行ってみよう!...4・5面
- 市立小中学校通学区の弾力化...3面
- 松山市民文化祭...6・7面
- 市民ガイド...8・9面



発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/  
 市勢 平成25年9月1日 現在推計(前月比) ■面積:429.06km<sup>2</sup> ■人口:516,554人(+30) ■男:241,106人 ■女:275,448人 ■世帯数:229,523世帯(+111) ■1世帯の平均:2.25人 ■人口密度:1,204人/km<sup>2</sup>

# ご当地グルメまちおこし!!

## 「飯・ぽん・焼シンポジウム」



まちづくり活動の楽しさや苦勞話を意見交換

「ご当地グルメをまちおこしに役立てようと、今治焼豚玉子飯・八幡浜ちゃんぽん・三津浜焼の仕掛け人が、体験などを語り合う「飯・ぽん・焼シンポジウム」が9月1日、三津浜支所で開催され、地域住民ら約100人が参加しました。

「皆さん、地元は好きですか」。今治焼豚玉子飯世界普及委員会会長・田中雅仁さんの問い掛けで始まったシンポジウム。

田中さんは、B-1グランプリ出場時、自分たちのブースに人が集まらないので、隣のブースに行列するお客様に「並びながら食べませんか」と

と売り込み売売をさせたエピソードから、ピンチをチャンスに変えるアイデアが大事と熱弁。三津浜焼で地域のにぎわいづくりに取り組むNPO法人なもし開縁隊理事長・門



出来たての焼豚玉子飯を待つ参加者

お問い合わせは、坂の上の雲まちづくりチーム ☎948-6942・FAX93418004へ

**参加者の声**

食を売ると同時に地域をPRすれば知名度が上がり観光客が増え、活性化できると思いました。

**浜本 友子さん** (神田町)

八幡浜市の2代目ちゃんぽん係長・宇都宮繁樹さんは、のぼりマップ・キャラクターなどのツールを使い、町全体でPRする工夫を披露。仕掛け人たちは、地域の特色や活動の楽しさ、PRの手法などを熱心に語り合いました。

また会場では、今治焼豚玉子飯・八幡浜ちゃんぽん・三津浜焼も試食販売され、来場者は各グルメを堪能しました。

お問い合わせは、道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会事務局(道後温泉事務所内) ☎9216464・FAX9343415へ

**10/10開催 キックオフ・シンポジウム**

参加アーティスト(敬称略)

--	--	--	--	--	--

【日時】10月10日(木)15時~16時30分(開場は14時30分)  
 【会場】子規記念博物館(道後公園) 4階講堂  
 【内容】参加アーティストによる作品のプレゼンテーション、特別座談会「まちづくりとアートの最先端へ」など  
 【定員】300人(先着順)  
 【料金】無料  
 【申し込み】10月7日(月)までに、ファクス、eメールで、代表者の住所、氏名、電話番号、参加人数を「道後オンセナート2014」キックオフ・シンポジウム係 dogoonsenart@city.matsuyama.ehime.jpへ  
 ※申込者には後日通知

**道後オンセナート 2014**

最古にして、最先端。温泉アートエンタテイメント。

古事記にも残り日本最古といわれる「道後温泉」。明治27年に道後湯之町初代町長の伊佐庭如矢が現在の道後温泉本館の形に改築してから、2014年に120年を迎えます。そこで「最古にして、最先端。」をテーマに「道後オンセナート2014」と称し、10月10日のプレイベントを皮切りに、12月24日からプレイオープン、2014年4月10日から12月31日を本期間とし、国際芸術祭を開催します。

**シンボルマーク決定!!**

さまざまな熱を喚起させる湯気、を古典の文様で表現

ライトアップで本館とその周辺が非日常の空間に(イメージ)